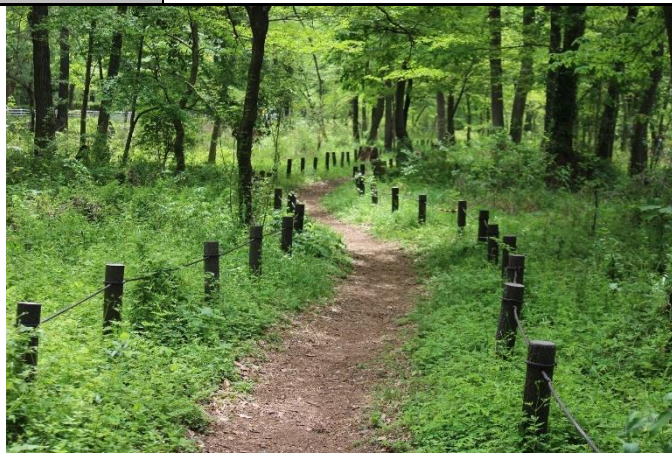


活動報告書

団体名：NPO相模原こもれび

活動場所	近郊緑地特別保存地区「木もれびの森」活動地		記録者	白川 泰嗣
活動日時	令和6年4月21日（日）9時00分～11時30分	天気	晴れ 21.7℃ 57%	
参加者	安久、浅川、新井、開沼、川口、黒岩、白川、田邊、田村、西原、平野、藤井、本田、三浦、目黒（一）			計15名
活動内容	森林保全活動			
使用道具	クサビ、ナタ、手鋸			
機器操作者	刈払い機		チェーンソー	
	—		浅川、白川、田村、西原、平野、三浦	
区域	B地区、E地区			
作業内容	①枯損木の伐木 ②枝拾い			



散策路が緑に包まれ、新鮮な空気に満ち溢れていた



かつての里地里山の営みであった、薪づくり



利用機会を逸してしまった、大径木の更新



提供いただいたガソリン缶で、混合燃料を調合した

次回の予定：定例活動9:00～

5月11日（土）イヌシデ広場集合

5月19日（日）イヌシデ広場集合

イベント：

5月4日（土）クレマチスフェア

5月11日（土）木もれびの森づくり

☆ボランティア募集・経験不問☆

第1土曜、2土曜、3日曜、4水曜の中から好きな日の午前に参加可。活動日の朝9:00前に長袖で来て下さい。

報告事項・トピックス

●前日の総会で決意を新たにし、淡い新緑の中で森林浴を楽しみながら、森林保全活動を行った。かつて里地里山でスローライフな天然資源の循環が営まれてきたであろう時代に思いを巡らせ、森との共存を実践した。

●薪炭林であった木もれびの森は、巨木にはならないコナラやクヌギを主とする雑木林である。二酸化炭素を吸着した薪はキャンプ場やイベントで市民のレクリエーション向けに還元していく。適期に伐木することで切り株からの萌芽を促し、ドングリの実生苗を植樹するなどして、生育旺盛で二酸化炭素の吸着力に優れる若木へと積極的に更新を続けていく。

●市から保管期限を迎えた防災備蓄用の燃料が提供され、支援いただいた。